

共催：大阪府・よどき医療と介護のまちづくり株式会社

スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー・シリーズ

住み続けたいまち、住み続けられるまち

～今なら間に合う！住宅地の高齢化対応と再生～

高度経済成長期、人口集中に伴い、大都市中心部や近郊で、面的に開発された集合住宅や沿線ベッドタウンやニュータウン。そうした地域では、住まう世帯の循環が成立せず人口が減少、まち開きとともに住まいを持った住民が一斉に高齢化するなか、インフラや施設の老朽化、生活利便機能の低下など多くの共通する課題に直面しています。Aging in place（地域居住）の実現と多世代循環型居住による地域再生のため、今、速やかに手を打つべきことは何なのか。逸早く、地域と協働した取り組みが行われている先進例に学びつつ、各地の現状や課題を共有し、課題の解決方法やこれからの新たな展開の方向性を探ることを目的としております。

14:00～14:10 開会のあいさつ

大阪府政策企画部戦略事業室 副理事 金森 佳津

14:10～14:40 ●基調講演1

『Aging in placeの実現とまちづくり ～東急グループの取り組みについて～』

東急不動産株式会社執行役員ウェルネス事業ユニット ウェルネス事業本部副本部長 小室 明義 氏

14:40～15:10 ●基調講演2

『延ばすのは線路でなくて健康寿命です～地域と共に創造する地域の共有価値～』

阪急阪神ホールディングス株式会社事業政策部・部長 西水 卓矢 氏

～ 休憩 ～

15:20～16:50 ●各地の活動報告とパネル・ディスカッション

座長：大阪府政策企画部戦略事業室 副理事 金森 佳津

・『官民連携で推進する「河内長野住み替え応援事業」について』

南海電気鉄道株式会社経営政策室経営企画部・課長 脇田 和憲 氏

・『UR賃貸住宅における地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組み』

UR都市機構西日本支社ストック事業推進部ウェルフェア推進チーム・リーダー 藤本 進太郎 氏

・『健康寿命の延伸と元気な住民の活躍の場づくりを柱にした団地再生モデル事業』

河内長野市総合政策部政策企画課・主幹 谷ノ上 浩久 氏

16:50～17:00 閉会のあいさつ

◆日時 2016年2月25日（木）14:00～17:00（受付開始13:30）

◆場所 大阪府庁 新別館 北館4階 多目的ホール

大阪市中央区大手前3丁目1-43

定員250名
(無料・申込受付順)

[お申し込み・お問い合わせ]

(注) お車でのご来場はご遠慮下さい。

裏面に必要事項をご記入の上、FAXにてお送りいただくか、必要事項を書いたメールを下記までお送り下さい。

FAX番号：06-6328-2113 / E-mail：yodo-machi@machi-care.jp（管理部・石井宛）

スマートエイジング・シティ具体化手法セミナー・シリーズ

住み続けたいまち、住み続けられるまち

～今なら間に合う！住宅地の高齢化対応と再生～

参加申込書

F A X 番号

06-6328-2113

宛先：（事務局）よどき医療と介護のまちづくり株式会社

参加者氏名	連絡先	職種（該当に○を付けてください）
	電話番号： メールアドレス：	医療職・看護職・介護職 行政職・会社員・その他
	電話番号： メールアドレス：	医療職・看護職・介護職 行政職・会社員・その他
	電話番号： メールアドレス：	医療職・看護職・介護職 行政職・会社員・その他

[お申し込み・お問い合わせ]

必要事項をご記入の上、F A Xにてお送りいただくか、上記の必要事項を書いたメールを下記アドレスにお送り下さい。

E-mail : yodo-machi@machi-care.jp（管理部・石井まで）

■会場地図



大阪府庁 新別館 北館4階 多目的ホール
(大阪府中央区大手前三丁目1-43)

- ・地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅
1A番出口から徒歩約2分
- ・地下鉄谷町線・京阪「天満橋」駅
3番出口から徒歩約12分